

神津牧場の氷瀑 2015/01/18

メンバー：勅使河原（CL），落合（SL），谷内，松村，大曾根，長谷部（会員外）

右エリア 8:00 → インディアンサマー広場 13:00 → 16:30 終了

西上州には各地に氷瀑が点在していますが、前々から気になっていた神津牧場へ初めて行つきました。

世界遺産「富岡製糸場と絹産業遺産群」として登録されて記憶に新しい荒船風穴の西部、エリアに「インディアンサマー広場」という名前が付き、滝のネーミングもそれぞれインディアン族から取つていてユニークだが、高原や牧場近くという土地柄から初登者はそんな名前を思い付いたのでしょうか。

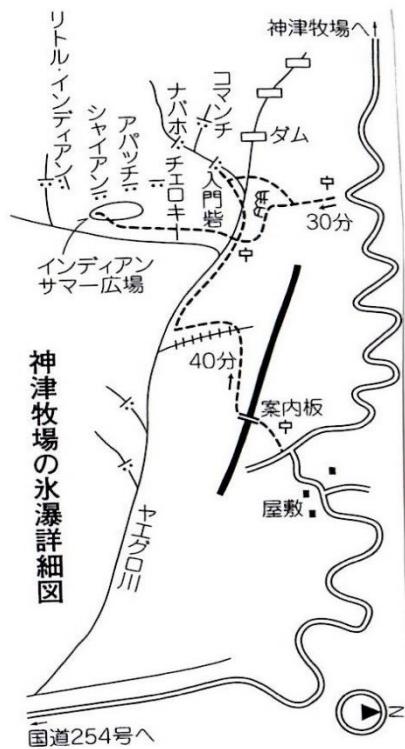
神津牧場の氷瀑はアプローチがとてもいい、神津牧場まで44号線は舗装された道が続くが荒船風穴より少し登った所で路肩に数台停められるスペースがある。右エリア、サマー広場ともにゲレンデまで15分程度。（トポ図表記より短い）路面テカテカの急坂なので4駆車がいい、2駆車は大人しく荒船風穴入口の駐車場に停めた方が無難。（風穴は冬季閉鎖されているが駐車場は解放されていました、風穴入口から歩いても+10分程度）

エリアは右エリア、インディアンサマー広場と2箇所に分かれているが移動はいずれも10分程度と容易。

まずは手始めに右エリアから登つてみる。右エリアは入口の入門砦を登り、上部が二俣に分かれカマンチとナバホ。



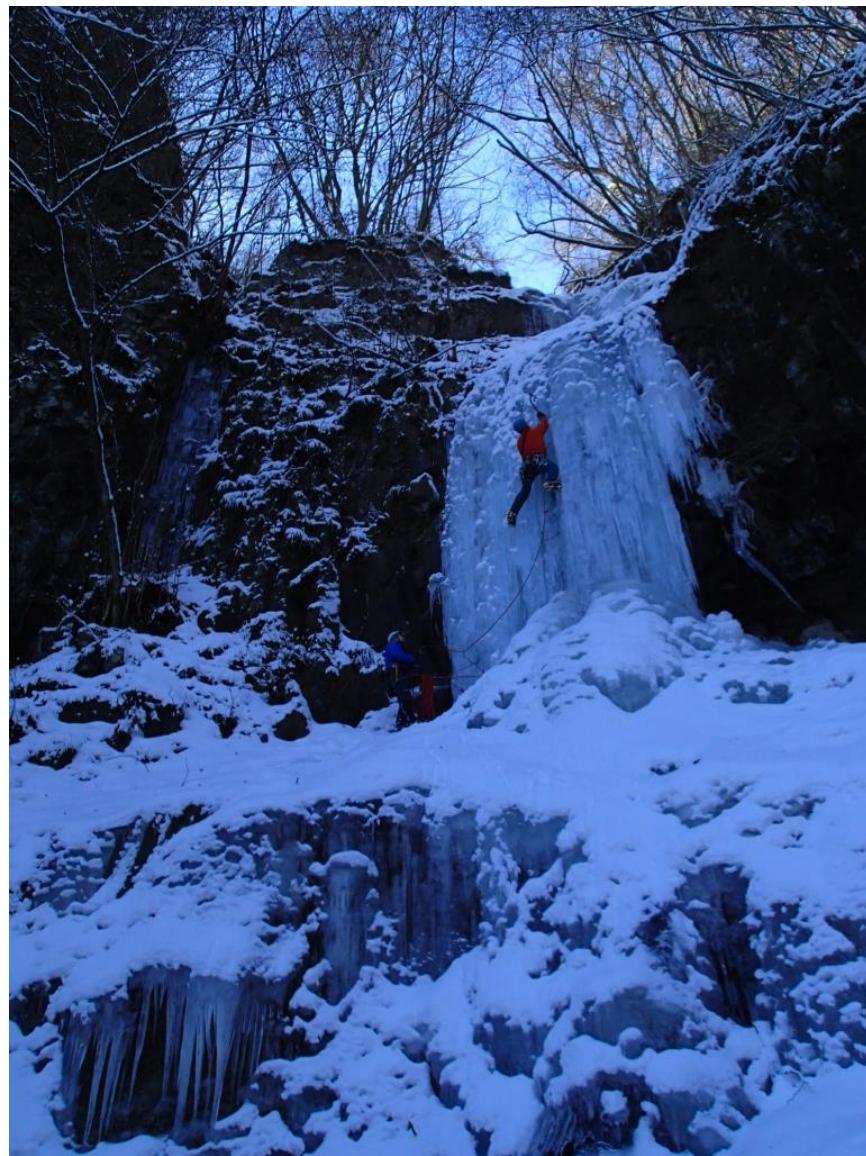
右エリア F1・入門砦の滝



右に続く枝沢コマンチ（30m）は先に登った落合・大曾根さんペアで登ってみる。

傾斜は緩く初級者の練習にちょうどよさそうだが、南斜面で日当たりがバツチリなので完全に凍結していなくミックスのような登攀で一本だけ登り懸垂下降。

コレはコレで楽しいがコマンチは常に日当たりがいいのでカナリ冷え込まないと完全には氷結しないと思われる。



ナバホ（2段 40m）をリードする勅使河原さん



午後はインディアンサマー広場に移動

インディアンサマー広場のシャイン（左）とアパッチ（右）、看板ルートはいずれもヴァーチカルで上部が核心。

課題としては神津牧場でいちばん見栄えもよく登り応えがある、落合がシャインを登り右のアパッチにもトップロープを掛けたが、アパッチを最初にトライした谷内さんが上部でシャワー・クライミングを食らい撃沈して降りてきた。

下からでは分からなかったが、アパッチは午後になり氷結状態が緩んでいたようだ。あまりにビッシュで降りてきたので一同ビックリ・・・。回収は勅使河原さんにお願いしましたが、同じく上半身びしょ濡れになりながらの登攀でした。。

サマー広場も南斜面なので、気温が緩み陽が当たる前に取りついた方が安定しているのかもしれない。

シャインはアパッチに比べると氷の状態は比較的安定していたが、TR を掛ける場合は立木が少し離れていて右のルンゼに食い込んでしまったので抜け口で振られ止めなどのスクリューで工夫した方がいい。最後に TR でスタックしてしまったので次回の反省点にしたい。

チエロキは先客がいたので登る時間がなかったが、奥にあるリトル・インディアンは氷結状態がまだ甘かった。

滝は全体的に傾斜が強い、本数が少ないのでパーティーが多いと順番待ちになるので留意したい。（当日は計 4 パーティー入っていたが特に混乱はなかった）

滝の課題としてはやはりナバホ、シャイン、アパッチをリードで難無く登れるようになれば一人前と呼べるのでしょうか、次回の宿題としておこう。

夜は下仁田ネギとコンニャクで鍋パーティーでもしながら西上州エリアの滝を集中して登るのも一興かもしれない。

(記録: 落合)